

次期愛知県スポーツ推進計画（仮称）素案＜概要版＞

第1 計画の基本的事項（P1～2）

1 策定趣旨

- 2013年3月に策定した、現行の地方スポーツ推進計画（「いきいきあいち スポーツプラン」）の計画期間が2023年3月に終了
- 国（文部科学省）の第3期スポーツ基本計画（計画期間：2022～2026年度の5年間）を参酌し、今後の本県のスポーツ振興に向けた新たな計画を策定

2 計画の位置付け

- スポーツ基本法第10条の規定に基づく地方スポーツ推進計画
- 本県の総合計画「あいちビジョン2030」の個別計画として、スポーツ分野の具体的な施策を示す

3 計画期間

- 2023年度から2027年度までの5年間

第2 検討の視点（P3～7）

1 今後の社会経済の展望

- 本県の人口は、2020年頃をピークに減少すると見込まれており、年少人口や生産年齢人口が減少を続ける一方、老年人口は増加し、中でも75歳以上の人口が増加していく
- 雇用面では、生涯現役で多様な労働参加・社会参加が進むと見込まれる
- 技術革新が一層進展し、Society5.0時代が到来。幅広い産業構造の変革に加え、人々の働き方やライフスタイルが変化していく
- アジアをはじめとする新興国が急速に経済成長し、アジアも世界経済の中心的役割を担うこととなる

2 今後の主なスポーツ関連の動き

2023年	第19回アジア競技大会（杭州）、第4回アジアパラ競技大会の開催、休日の部活動の段階的な地域移行の開始
2024年	パリオリンピック・パラリンピック（夏季）の開催
2025年	愛知県新体育館の開業、デフリンピック2025夏季大会の東京での開催
2026年	ミラノオリンピック・パラリンピック（冬季）の開催、第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会の開催
2027年	アジア競技大会・アジアパラ競技大会選手村の後利用事業の推進

第3 基本理念・目指すべき姿（P8～9）

基本理念

アジア・アジアパラ競技大会を活かし、すべての人がともにスポーツを楽しみ、スポーツの力で豊かで活力ある愛知の実現

目指すべき姿

すべての人が生涯にわたりスポーツに関わり、スポーツにより人と人がつながる愛知

世界で活躍するトップアスリートを継続的に輩出し、夢や感動を分かち合う愛知

スポーツを通じて世界から人を呼び込み、交流を生み出し、持続的に成長する愛知



スポーツを通じたSDGsへの貢献

【目指すべき姿を実現するための成果達成目標】

・スポーツ実施率（成人、障害者）

※ 下記の項目を候補に検討していく。

・国際大会に出場する本県ゆかりの競技者数

・県が支援するスポーツ大会への参加者数

I 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出

＜施策の方向性と具体的な取組＞

- ◆**スポーツ人口の裾野拡大**
 - ・ SNS等を活用した情報発信
 - ・ 親子で楽しめるスポーツ機会の創出
 - ・ あいち健康マイレージ事業の推進
 - ・ 企業と連携した健康づくり支援
 - ・ 高齢者の生きがいづくり支援
- ◆**障害者スポーツの推進**
 - ・ 地域や大学、企業との連携や指導者・支援者の確保・育成等を通じた体制整備
 - ・ 身近な地域でスポーツに関わる機会の創出
 - ・ スポーツによる障害者と地域住民との交流促進
- ◆**地域のスポーツ環境の充実**
 - ・ スポーツ施設の整備・充実
 - ・ クラブの質的向上に向けた「登録・認証制度」の活用
 - ・ スポーツ推進委員の資質向上・活動促進

など

II 子どものスポーツ活動の充実

＜施策の方向性と具体的な取組＞

- ◆**児童生徒の体力の向上**
 - ・ 日頃の身体活動の充実
 - ・ 運動・スポーツに対する興味・関心の喚起
 - ・ 子どもの体力向上に向けた取組の推進
- ◆**学校体育・スポーツの充実**
 - ・ 研修などによる教員の資質向上
 - ・ 地域の指導者・団体の活用など指導体制の充実
 - ・ 特別支援学校との連携
 - ・ 学校体育施設・設備等の安全管理の推進
- ◆**多様なニーズに応じた運動部活動の推進**
 - ・ 地域のスポーツ資源を活用した指導の充実
 - ・ 持続的な運動部活動の推進
 - ・ 部活動指導員の確保や人材バンクの設置による人材の充実
 - ・ 複数の移行パターンの構築による運動部活動の地域移行の推進

など

III トップアスリートの育成、活躍支援

＜施策の方向性と具体的な取組＞

- ◆**トップアスリート・パラアスリートの発掘・育成**
 - ・ あいちトップアスリートアカデミーにおける地元出身選手の発掘・育成
 - ・ 大学との連携に基づく取組の推進
 - ・ スポーツ医・科学に基づく支援体制の充実
- ◆**トップアスリート・パラアスリートの強化・活用**
 - ・ 県強化指定選手への支援
 - ・ アスリートのキャリア形成に向けた支援
 - ・ トップレベルの選手・指導者との交流機会の創出
- ◆**国民体育大会への選手派遣等**
 - ・ 国民体育大会、全国障害者スポーツ大会などへの選手派遣
 - ・ 国民体育大会等に向けた県代表選手の競技力向上
 - ・ 大会運営能力の向上
 - ・ スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上

など

IV アジア・アジアパラ競技大会の開催、レガシー創出

＜施策の方向性と具体的な取組＞

- ◆**開催に向けた取組・機運の醸成**
 - ・ 競技会場・選手村等の整備
 - ・ テスト大会等を通じた開催機運の醸成
 - ・ 大会ボランティアの確保・育成
 - ・ 大会の広報・PRの推進
 - ・ 大会を通じたSDGsへの貢献
- ◆**大会を活用した地域活性化**
 - ・ 地域に根差したスポーツの推進
 - ・ 選手村後利用事業の推進
 - ・ アジア各国との交流の推進
 - ・ 大会における「Made in AICHI」のショーケース化
 - ・ 来訪者の受入環境の整備
 - ・ アジア大会のPRと併せた愛知・名古屋の魅力発信
- ◆**共生社会の実現への貢献**
 - ・ 多様性への理解促進
 - ・ 競技会場等におけるバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進
 - ・ 外国人県民との相互理解の促進

など

V スポーツによる地域活性化

＜施策の方向性と具体的な取組＞

- ◆**全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成**
 - ・ あいちスポーツコミッションによるスポーツ大会の招致・育成
 - ・ スポーツ大会の魅力向上、大会を活かした情報発信
 - ・ 様々な地域資源を活かしたスポーツツーリズムの推進
 - ・ 観光施策と連携した県内周遊性や来訪者の満足度向上
- ◆**スポーツの成長産業化**
 - ・ スタジアム・アリーナの整備、賑わい創出
 - ・ デジタル技術を用いたスポーツの新たな価値の創出
 - ・ スポーツオープンイノベーションの推進
- ◆**スポーツチームとの連携・協働**
 - ・ チームの知名度・発信力を活かした社会課題への貢献
 - ・ 選手との交流や「みる」スポーツ機会の創出

主な進捗管理目標（案）	
I	・ 県内スポーツ情報を発信するウェブサイトのアクセス件数
	・ あいちパラスポーツサポーター養成研修参加者数
II	・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力・運動能力の合計点
	・ 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒
III	・ あいちトップアスリートアカデミー事業における育成数
	・ 県強化指定選手に対する補助件数
IV	・ 県内における新たな国際スポーツ大会の開催数
	・ アジア競技大会に関連したアジア各国との交流件数
V	・ 名古屋ウィメンズマラソンの県外・海外からの出場者数
	・ プロスポーツチーム等と連携した取組数

※ 計画策定に向けて、項目の充実、内容の精査を図っていく。